

議 事 録 (要旨)

会議名

第4回 佐久市行政改革推進委員会

日 時

平成26年12月18日
(木)

開催場所

佐久市役所
議会棟全員協議会室

時 間

15:00
～
16:15

出席者

委員：白井千尋、阿部眞一、黒澤正幸、大工原俊之、田嶋亜弥、
田島弘、丸山紀八郎、油井佐智枝、工藤孝一、中澤朗、
山口好古
事務局：企画部長 矢野光宏、企画課長 佐藤照明、
行政改革係長 遠藤貴信、行政改革係 小林誠之

委員

出 11人
欠 4人

提出資料

- ・会議次第
- ・資料No.1 平成26年度事務事業外部評価 評価結果及び対応方針一覧
- ・資料No.2 平成26年度事務事業外部評価の流れ
- ・資料No.3 佐久市行政改革行動計画（平成24年度～平成28年度）

《開会》

《あいさつ》

《会議事項》

【会議事項に入る前に事務局から報告】

佐藤課長 本日は、4名の委員から都合により欠席される旨の連絡がありましたので、報告します。本日の委員の出席は11名ですので、佐久市行政改革推進委員会条例第6条第2項の規定を満たし、会議が成立していることを報告します。

(1) 平成26年度事務事業外部評価対象事業の対応方針について（資料No.1）

【各事業の市の対応方針を事務局から説明】

委 員 「外部評価番号2-6 へき地内山診療所管理運営事業」について、委員会では「廃止」の評価結果とし、新聞でもそのことが報道されていたため、市の対応方針が「現行どおり」となると、「なぜだ。」と思われてしまうことが危惧される。「現行どおり」としたのは、急に廃止することは難しく、激変緩和として措置したものであり、あくまでも状況をみながら、廃止に向けて取り組んでいくということによいか。

佐藤課長 そのとおりです。また、「現行どおり」としたその他の理由として、利用者への影響を少なくすることに加え、本診療所は県からの補助金を受け運営している施設である

ため、「廃止」により補助金額が減少するなど、市財政への影響を考慮したためであり、今後は、それらの状況をみながら検討していきます。

【その他に意見等なし】

(2) 外部評価の実施方法について（資料No.2）

【本年度の外部評価実施方法及び今後の実施方法について事務局から説明】

委員 各部会の人数が少ないため、3つある部会を2つにするなど、判断する人数を増やした方が良いと思う。前回の委員会に出席できなかったが、委員会としての評価を決定した際に、各部会の評価結果に対して、他の委員から意見等は出たのか。

小林行革係 基本的には、各部会の評価結果を尊重し決定しましたが、さらに付け加えたい意見等があった場合は、それも含めた評価として修正しました。

佐藤課長 決して部会の評価がそのまま委員会の評価になったわけではなく、評価の趣旨そのものが変わってしまうといったことはありませんでしたが、こういった視点が足りない等、あとから付け加えられた意見もありました。

委員 部会開催時に必ず全員が出席していたわけではなかったため、やはり評価するうえでの人数としては少ないように感じた。他の委員はどう考えているのかお聞きしたい。

委員 少人数であっても、自分の考え方とは違った意見を聴くことはできたが、これが大人数であれば、さらに別の考え方を聴くことができ、より考えを深めることができると思うので、もう少し人数が多い方が良いと思う。

委員 他の会議に出ていると、5、6人だと意見が頻繁に出るが、10人になると半分になり、20人を超えると出ないこともあるので、部会の人数としては適当であると思う。他の委員の意見をもっと反映させたいのであれば、例えば部会の開催はこのままでよいが、委員会の回数を増やすことや、ひとつの事業に対する部会を2つに設定するなど重複させ、それぞれの部会の意見を委員会で審議するなどの方法もあるかと思う。

委員 要はどれだけ活発に議論されるかが重要なことにはなるが、これからの市の方向性を少人数の意見だけで決めてしまうことはどうかと思う。少人数で意見が出やすいことは良いことではあるが、その意見を他の委員もより深く議論できるような仕組みを検討してもらいたい。

委員 少人数とした部会が、自分としては意見が言いやすいものではなかったのですが、今回の人数が必ずしも、意見を言いやすい人数とは言い切れないと思う。

委員 少人数だと自分の意見に責任感を持つことができ、より議論が深まると思う。また、施設視察も大人数で行くよりは少人数で行き、丁寧な説明を受けた方が、より理解できると感じた。

委員 同意見であり、少人数であれば施設視察に行った時など、委員同士の親近感が生まれ、意見が出しやすくなり、また、より自分の意見に責任を持つことができる。この少人数の部会が、意見を出しやすいものではないということであれば、所管課からの説明

をより詳細にするなど、判断する材料を増やすことも必要になるかと思う。

会 長 ほかにも前年度の外部評価を経験した委員がおられるが、お考えをお聞きしたい。

委 員 大人数より少人数の方が、意見が出やすいと感じた。

会 長 いろいろ意見が出たが、いずれにしても、委員の皆さんは、より議論を深めたいという点では一致しているので、これらの意見を踏まえ、より議論が深まる方法について、事務局は検討してほしい。

矢野部長 審議を複数回実施したからといって、必ずしも議論が深まるものではないと思います。今回のように少人数で実施することで、動きも軽くなり、意見も出やすくなったものと実感していますので、委員の皆さんからいただいた意見を参考に来年度以降は、さらに良いものとなるよう見直していきたいと考えています。

会 長 基本的には来年度以降も部会方式により実施することとし、運用をどのようにしていくかについて、事務局で検討するというところでよいか。

【異議なし。その他に意見、質問等なし】

《報告事項》

(1) 佐久市行政改革行動計画（平成 24 年度～平成 28 年度）について（資料No.3）

【進捗状況について、事務局から説明】

佐藤課長 こちらの計画は項目数が多いため、後ほどご確認いただき、何かあれば事務局までご連絡下さい。

会 長 ただ今、事務局からもあったとおり、何かあったら、次回以降の委員会で意見をお願いしたい。

【その他に意見、質問等なし】

《その他》

佐藤課長 本日、ご報告しました外部評価の市の対応方針につきましては、毎年度実施している事務事業評価により、進捗管理していくこととなりますのでご承知おきください。

遠藤係長 今後の委員会でご審議いただく内容ですが、佐久市では現在、公共施設の状況や運営の状況を調査・分析したうえで、総合的な視点から効率的に管理運営を推進するための公共施設マネジメントに関する作業を進めているところであり、昨年度は、施設の現状を示した「佐久市公共施設白書」と今後の市の基本的な方向性を示した「佐久市公共施設マネジメント基本方針」を策定したところです。今後は、それぞれ個別の施設の方向性を示すための計画を含めて、国の示す「公共施設等総合管理計画」を策定する予定です。その策定段階において、本委員会で、ご審議いただければと考えています。

《閉会》